



埼玉労働局発表
令和4年4月26日(火)

[照会先]
埼玉労働局労働基準部健康安全課
健康安全課長 繁野 北斗
主任産業安全専門官 吉野 信夫
電話番号 048-600-6206

報道関係者各位

令和3年の労働災害発生状況を公表

～死亡者数、休業4日以上之死傷者数のいずれも大幅な増加～

埼玉労働局(局長 高橋秀誠)は、令和3年の県内の労働災害発生状況を取りまとめましたので公表します。

令和3年の休業4日以上之死傷者数は7,837人で、そのうち死亡者数は34人で、いずれも大幅に増加しました。特に、死傷者では転倒、死亡者では高所からの墜落・転落等が増加しています(下記参照)。

増加した原因として、被災リスクの高い高年齢労働者の増加、新型コロナウイルス感染症で休業せざるを得ない方が増えること等による業務の逼迫等が影響していると考えております。

労働災害発生状況を踏まえ、埼玉労働局では、

- 高年齢労働者の労働災害防止対策の普及啓発(別添1)
- 転倒や腰痛による労働災害の予防の推進(別添2)

に重点を置いて取り組んでまいります。

また、これから気温の高い日が続き、熱中症の発症リスクが増大することから、5月から9月までを、

- 「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」(別添3)

として、埼玉県とも連携しながら、熱中症の予防を周知してまいります。

令和3年(暦年)における労働災害発生状況の概要

1 休業4日以上之死傷者数(資料1参照)												
7,837人(前年比+1,068人)												
<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">〔</td> <td>内訳</td> <td>新型コロナウイルス感染症</td> <td>917人(前年比+652人)</td> <td rowspan="2">〕</td> </tr> <tr> <td></td> <td>転倒</td> <td>1,663人(前年比+100人)</td> </tr> </table>		〔	内訳	新型コロナウイルス感染症	917人(前年比+652人)	〕		転倒	1,663人(前年比+100人)			
〔	内訳		新型コロナウイルス感染症	917人(前年比+652人)	〕							
		転倒	1,663人(前年比+100人)									
2 上記1のうち死亡者数(資料2参照)												
34人(前年比+16人)												
<table border="0"> <tr> <td rowspan="3">〔</td> <td>内訳</td> <td>墜落・転落</td> <td>8人(前年比+4人)</td> <td rowspan="3">〕</td> </tr> <tr> <td></td> <td>交通事故</td> <td>7人(前年比+3人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>崩壊・倒壊</td> <td>4人(前年比+3人)</td> </tr> </table>		〔	内訳	墜落・転落	8人(前年比+4人)	〕		交通事故	7人(前年比+3人)		崩壊・倒壊	4人(前年比+3人)
〔	内訳		墜落・転落	8人(前年比+4人)	〕							
			交通事故	7人(前年比+3人)								
		崩壊・倒壊	4人(前年比+3人)									

令和3年業種別・事故の型別休業4日以上之死傷者数(埼玉労働局)

	墜落・転落	巻き込まれ・まれ	飛来・落下	激突され	交通事故	崩壊・倒壊	転倒	無理な反動作・	ル新型コロナウイルス	左記以外	合計	前年合計	前(増減数比)	前(増減率比)
製造業	130	369	100	53	16	25	308	205	140	274	1,620	1,366	254	18.6%
建設業	209	83	66	37	15	18	66	67	32	127	720	618	102	16.5%
陸上貨物運送事業	295	140	54	60	60	39	224	271	19	134	1,296	1,263	33	2.6%
小売業	75	70	32	22	56	15	229	161	10	136	806	790	16	2.0%
社会福祉施設	20	12	4	28	19	3	217	255	273	99	930	663	267	40.3%
飲食店	15	7	8	6	22	1	66	25	4	116	270	299	-29	-9.7%
上記以外	254	129	48	58	116	18	553	345	439	235	2,195	1,770	425	24.0%
全産業	998	810	312	264	304	119	1,663	1,329	917	1,121	7,837	6,769	1,068	15.8%
前年合計	941	797	318	270	274	101	1,563	1,179	265	1,061	6,769			
前年比(増減数)	57	13	-6	-6	30	18	100	150	652	60	1,068			
前年比(増減率)	6.1%	1.6%	-1.9%	-2.2%	10.9%	17.8%	6.4%	12.7%	246.0%	5.7%	15.8%			

資料 労働者死傷病報告

令和3年業種別・事故の型別 死亡者数(埼玉労働局)

	墜落・転落	巻き込まれ・まれ	飛来・落下	激突され	交通事故	崩壊・倒壊	転倒	新型コロナウイルス感染症関連	左記以外	合計	前年合計	前(増減数比)	前(増減率比)
製造業		1	1	1	1				2	6	4	2	50.0%
建設業	5			1		4			1	11	8	3	37.5%
陸上貨物運送事業		2			4		1		2	9	1	8	800.0%
小売業	1									1		1	
社会福祉施設													
飲食店													
上記以外	2			1	2			2		7	5	2	40.0%
全産業	8	3	1	3	7	4	1	2	5	34	18	16	88.9%
前年合計	4	4	1	2	4	1	0	1	1	18			
前年比(増減数)	4	-1		1	3	3	1	1	4	16			
前年比(増減率)	100.0%	-25.0%	0.0%	50.0%	75.0%	300.0%		100.0%	400.0%	88.9%			

資料 労働者死傷病報告

高齢労働者の労働災害防止対策 ～エイジフレンドリーガイドラインの概要～

背景

- 高齢労働者の就労拡大に伴い、60歳以上の労働災害の割合が増加（10年間で約15%→約25%へ増加）

事業者・労働者が取り組むべき事項

事業者が取り組むべき事項

- 経営トップによる方針表明・管理者の選任
- 設備の改善（照度の確保、段差の解消等）
- 身体機能の低下を補う装置等の導入
（滑りにくい靴、パワーアシストスーツ、介護用リフト）
- 健康・体力チェック（健康診断、開眼片足立ち等）
- 健康・体力状況に応じた対応
（労働時間の短縮、深夜業の減少、作業の転換、身体機能を維持向上する機会の提供）
- 教育
（身体機能低下に伴う労働災害リスクの増大、体力維持・生活習慣の改善の必要性等に関する教育）

労働者が取り組むべき事項

- 健康・体力チェック
- 体力維持（日ごろのストレッチ、軽いスクワット運動）
- 生活習慣の改善（睡眠時間の確保、栄養バランスの良い食事等）

こんな労働災害が起きています！



設備の改善の例



ストレッチの例



滑り



つまずき



今世紀最大の注意喚起が
今、始まる——

スベコチャダメよ!
転倒予防
ムチャレチャダメよ!
腰痛予防

お笑いも職場も
スベリやムチャは
アカン!!



踏み外し



腰痛



転倒予防の対策については
こちらをチェック▶▶▶▶▶▶



腰痛予防の対策については
こちらをチェック▶▶▶▶▶▶





小さなことからコツコツと… 職場での転倒・腰痛予防に努めましょう!



滑り^{!!!}の予防ポイント

水や油で濡れた床、サイズが合っていないか、かたたり靴底がすり減っていたりする靴などは、転倒の原因になります。

- 床の清掃をこまめに行い、水や油などは取り除くようにしましょう。
- 滑りやすい場所には、**注意を促す標識**をつけましょう。
- 転倒予防には**靴選びも大切**です。足のサイズにきちんと合わせて、靴底が滑りにくいものを選びましょう。また、靴底が大きくなり減ってきたら、すぐ買い換えましょう。



つまみずき^{!!!}の予防ポイント

歩きスマホや荷物の放置などは、つまみずいて転倒する危険性があります。

- スマホなどを見ながら歩かず、**足元が見える状態**で歩きましょう。
- 床の段差は、スロープで解消する、トラテープで段差をわかりやすくする、**注意喚起の標識を掲示**するなどの対策を行いましょう。
- 荷物は、通路、出入口などに放置せず、日ごろから**整理・整頓**を行いましょう。



踏み外し^{!!!}の予防ポイント

照明が暗い、大きな荷物を抱えているなど、足元の見えづらい状態は階段の踏み外しにつながります。

- 階段付近は十分な明るさを確保し、**足元が見える状態で昇り降り**しましょう。
- 階段には物を放置せず**、日ごろから整理・整頓を行いましょう。



腰痛^{!!!}の予防ポイント

重い荷物の持ち上げなど、腰に大きな負担のかかる作業は非常に危険です。また、滑り、つまみずき、踏み外しでバランスを崩すと、腰痛につながる可能性があります。

- 台車などの道具を使用**するようにしましょう。道具を使用するのが難しい場合は、ひとりで持ち上げず、誰かに手伝ってもらうよう声をかけましょう。
- 荷物を床面から持ち上げる際は、荷物に近づいて、しゃがんだ状態で抱え、ひざを伸ばして立ち上がるなど、**適切な作業姿勢・動作を意識**しましょう。
- 無理のない範囲での**ストレッチ**も効果的です。

スベリやムチャはアカン! 吉本芸人の特別動画公開中!



職場での転倒や腰痛は、ちょっとした工夫で予防ができます。吉本興業の人気芸人が楽しく、わかりやすく伝えるスペシャル動画を公開中。相方が怪我をしたら、あのネタはどうなる…? 気になる方は動画をチェック!

動画はこちらから▼



「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」の概要

キャンペーン期間

埼玉県のリフレットもチェック!

- 4月：準備期間
- 5月～9月：キャンペーン期間
- 7月：重点取組期間

キャンペーン期間の重点取組事項

- 1 休憩場所の確保
- 2 定期的な水分・塩分の補給
- 3 日常の健康管理（朝食、睡眠、飲酒、声掛け）
- 4 通気性の良い服・空調服の着用
- 5 異常時の措置（連絡・対応方法の確認）

こんな症状があったら熱中症を疑いましょう

- 軽** めまい、立ちくらみ、こむら返り（筋肉痛）、手足がしびれる、汗がとまらない、気分が悪い、ボーとする
- 中** 頭痛、吐き気、体がだるい（倦怠感）、虚脱感、意識が何となくおかしい
- 重** 意識がない、けいれん、体が熱い、呼びかけに対し返事がおかしい、まったく歩けない



埼玉県マスコット「さいたまっぴー」

熱中症かもしれないと思った時には



お医者さんに行くべきか迷ったら、まず相談!!

救急電話相談 24時間受付

#7119

048-824-4199

【利用上のお願い】
救急電話相談は、電話でアドバイスを行い、相談者の判断の参考としていただくもので、医療行為ではありません。あらかじめご理解のうえ、ご利用ください。（埼玉県医療整備課）

【聴覚障害者、音声・言語障害者向け医療機関案内】
専用FAX 048-831-0099

【協力機関】 埼玉県医師会・埼玉県看護協会・県内医療機関

埼玉県熱中症 検索

参考「熱中症環境保健マニュアル2018」（環境省発行） 2019.04

出典：埼玉県HP「熱中症予防5つのポイント」
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0704/netsuchusyo/5point.html>

別添3